

## 第7回若手小児腎臓病医のためのパワーアップセミナー

主催	日本小児腎臓病学会 教育委員会
対象	小児腎臓医を目指す若手小児科医24名
開催日時	平成26年 10月11日（土）午後—12日（日）午後
会場	龍馬看護ふくし専門学校 高知県高知市北本町1丁目5-3
参加費	25,000円 宿泊費・懇親会費含む。 10月11日の宿泊施設は事務局にて確保いたします。

内容 チュートリアル形式での症例検討とプレゼンテーション  
(ディスカッションを含む)

受講の流れ (予定)	7月末	グループ分け発表、メーリングリスト作成 参加グループのシナリオ配布と事前学習の開始
	9月末	事前学習終了 全グループのシナリオ配布
	セミナー1日目	チュートリアル学習 発表の準備 講演1 講演2 懇親会
	セミナー2日目	プレゼンテーション&ディスカッション 講演3 講演4

\*各グループに割り振られたシナリオを入り口として、その分野の基本的な事柄については事前学習で勉強してください。  
全グループのシナリオを事前に参加者全員に配布いたしますので、当日は、各グループのディスカッションに参加できるように各自学習しておいてください。

スーパーバイザー 後藤芳充（名古屋第二赤十字病院）  
関根孝司（東邦大学）

教育講演 国立成育医療研究センター 腎臓・リウマチ・膠原病科 伊藤秀一  
埼玉県立小児医療センター 腎臓科 藤永周一郎  
独立行政法人 国立病院機構高知病院 臨床検査科 成瀬桂史  
聖路加国際病院 腎臓内科 小松康宏

チューター 漆原真樹（徳島大学）  
斎藤宏（日本大学）  
清水真樹（高松赤十字病院）  
手塚優子（愛媛県立新居浜病院）  
長谷幸治（宇和島市立宇和島病院）  
野津寛大（神戸大学）  
藤丸季可（大阪市立総合医療センター）  
三浦健一郎（東京大学）

応募の要領 まず、別紙および小児腎臓病学会HPに掲載されている参加者への心得を読み、チュートリアルを進め方、とくに事前学習の意味を理解してください。  
次に、開講分野である

- 1) ネフローゼ
- 2) 腎炎
- 3) 慢性腎不全
- 4) 水電解質・尿細管疾患

の4つから今回受講を希望するものを2つ決めてください。

本セミナーは原則先着順ですが、これまでの参加歴も参考にします。同じ専門分野を目指す同年代の医師や先輩医師と知り合う良い機会です。  
小児腎臓医としての経験年数は不問です。情熱と向上心のある若手大歓迎です。  
参加希望の方は希望分野を第2希望まで添えて、高知大の石原まで下記メールアドレスへご連絡下さい。

企画 日本小児腎臓病学会教育委員会  
第7回実行委員長 藤枝幹也（高知大学）  
事務局 石原正行（[ishihara-masayuki@kochi-u.ac.jp](mailto:ishihara-masayuki@kochi-u.ac.jp)）  
締め切り 7月18日（金）  
ただし、定員になり次第募集は終了します。

## 平成26年度 小児腎臓病学会パワーアップセミナー参加希望者へ

パワーアップセミナーは、小児腎臓病学会教育委員会が、若手小児腎臓医の育成プログラムの一環として年に一度、1泊2日の予定で全国各地にて開催しています。今回高知は7回目です。

講義形式のセミナー1泊2日で“小児腎が分かる”、ということはありません。そこで、実践的な症例から多くの問題を抽出しながら自主的に学んでいくというチュートリアル形式で行います。これをより効果的にするために、メールで事前学習を十分に行うことが必要です。この事前学習により、自分のレベルに合わせた勉強の進め方ができますので、小児腎臓医としての経験年数は参加条件にはしていません。学習意欲さえあれば経験値が低くても、セミナーには十分にキャッチアップできると思います。

このセミナーには、以下のようなメリットがあります。

1. ネフローゼ症候群、腎炎、慢性腎不全、水電解質・尿細管疾患の4つのうちから自分の希望で受講科目を選択できる(場合によっては第二希望になることもあります)。
2. 教育委員会で作成した良質の症例のシナリオに沿って、チューターと相談しながら、自分のペースで学習を進めることができる。
3. 少数で構成されるグループ学習を通して、いろいろな経験やレベルの小児腎臓医と交流し、相互に学ぶことができる。
4. 小児腎臓医として必要なスキルに密接に関連する教育講演を受けることができる。
5. 懇親会などを通して、学会のメンバーと縦横の繋がりを持つことができる。

### このセミナー受講を希望する方に認識していただきたい点

本セミナーの基本は自主学習であるため、事前学習に意欲的であることが必須です。チューターによる効果的な学習サポートは、シナリオに沿って計画的に行いますので、受講者はメールへのレスポンス、レポート提出期限の厳守をお願いいたします。セミナー受講に関しては、チューターや講師は基本的にはボランティアで参加します。また、会場や宿泊などの手配は担当施設の学会員があたってくれます。運営資金は小児腎臓病学会から支援されていますが十分ではなく、また参加費は抑えたいと考えておりますので、多少の不便などあるかもしれません。この点もご理解いただきたいと思います。

若手の意欲のある先生方と、小児腎臓学の大切さ、面白さを分かち合い、実りのあるセミナーにしていきたいと思っております。奮ってご応募ください。

小児腎臓病学会教育委員会委員長  
長田道夫